

Form 3

Date (日付)
03/12/2010 (Date/Month/Year:日/月/年)

Activity Report -Science Dialogue Program-
(サイエンス・ダイアログ事業 実施報告書)

Fellow's name (参加外国人研究者氏名): 王 岩 (ID No. P09356)

Participating school (参加機関(受入学校名)): 延岡高校

Date (実施日時): 02/11/2010 (Date/Month/Year:日/月/年) Time: from 13:55 to 15:35

Lecture title (講演題目): (in English) なし(スライドに乗ってなかった)

(in Japanese)心筋細胞のイオンチャンネル発現を制御する転写因子の決定

Lecture summary (講演概要):

自己紹介

故郷についての紹介

自分の研究についての紹介

Language used (使用言語): 英語と日本語

Lecture format (講演形式):

Lecture time (講演時間) 60-70 min (分), Q&A time (質疑応答時間) 30-40 min (分)

Lecture style (examples: used projector, conducted experiments)

(講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、プレ実験など))

プロジェクター使用による講演

Interpreter (example: assistance by host or colleague, provided Japanese explanation by yourself)

(通訳 (例: 受入研究者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明))

外国人研究者本人による日本語説明

Name and title of assistant (協力者 職・氏名) (example: host or colleague)

Other note worthy information (その他特筆すべき事項):

Impressions and opinions of assistant (協力者から本事業に対する意見・感想等がございましたら、お願いいたします。): 今回のサイエンスダイアログは私にとってとても貴重な経験だと思いますが、ちょっと気になってるところがあります。現在、科学の分野は非常に細かくなってしまって、専門外の方なら、たとえ母語でも、わかりにくい知識がほとんどであり、外国人の演者としてうまく伝えない可能性があります。ですから事前の打ち合わせでは学生さんにアンケートで「どんな内容を話してほしい」(生活に近い知識など、もちろん研究内容に関わる)と聞いたほうが良いと思います。